TOKYO CHUO SHIN ROTARY CLUB
東京中央新ロータリークラブ週報

例会日　毎週月曜日(12：30～13：30)　　会　場　帝国ホテル3F　舞の間
会　長　秋葉　良子　　幹　事　富田　洋平
事務局　〒104-0061　中央区銀座8-11-12　正金ビル2F
TEL 03-5537-0270　FAX 03-5537-0271　　http://blog.livedoor.jp/chuoshin/

2017-2018年度　国際ロータリーテーマ「ロータリー：変化をもたらす」

本日の例会　第673回　2017年8月28日(月)

卓話：「イブ・サンローランの言葉から見える洋服ときものの神髄」
冨澤　輝実 様

例会報告　第671回　2017年8月7日(月)

出席率 67.39%（出席者29名+メーキャップ2名／正会員49名-休会3名）

東京山王ロータリークラブ新会長ご挨拶（細田治会長）

バナー交換

本日やっと秋葉会長のお祝いにお伺いすることができました。石森啓一幹事と出席いたしました。第2750地区における100番目のクラブであり、会長に就任した7月5日の例会が100回目の例会でもありました。まだまだ32名の小さい会ですが、秋葉会長のアグレッシブな活動を見習い、ご指導いただきたいと思っております。宜しくお願いします。

特別例会（夜間例会）のお知らせ（石原忠始会員）

10月16日石破茂衆議院議員をお招きして講演頂く夜間例会をお知らせします。ゲストも続々申し込みを頂いており、250名限定で締め切りたいと考えています。人数いっぱいになったら締め切りたいので参加の意思表示を事務局にお願いします。

幹事報告（富田洋平幹事）

- 今日の配布物は、第10回カラオケ同好会開催のお知らせ、週報（第669回例会報告）、ロータリーの友8月号、東京三鷹ロータリークラブ創立50周年記念式典のご案内となっています。
- 8月14日（月）の例会は休会です。
- 8月21日（月）の通常例会ではガバナー補佐訪問があります。また例会後クラブ協議会がありますので多数ご参加ください。
- 第2回理事会で小林会員推薦のお二人と、冨田幹事推薦のお一人が承認されました。
- 地区役員承認についての報告
  時枝　紀子（2017-18年度　青少年奉仕委員会　副委員長）
  時枝　紀子（2018-19年度　青少年奉仕委員会　委員長）
  石川　和子（2018-19年度　青少年奉仕委員会　副委員長）
  野呂　洋子（2017-18年度　スポーツ・文化支援委員会　委員）
  黒岩　友美（2018-19年度　国際大会推進委員会　委員）
- 育成園に贈る写真集費用についての報告
- 東京育成園サマーキャンプ予算についての報告
- 歴代会長会についての報告
- クリスマスアンケート結果について（中央ロータリークラブと合同開催が決定）

細田治会長・**石森**幹事（東京山王RC）　やっとメイキャップに来れました。秋葉会長、富田幹事、素敵な新年度のスタートですね。貴クラブの益々の発展をお祈り申し上げます。

高田　修会員（東京世田谷RC）　野呂直前会長辻直前幹事、お疲れ様でした。また、新年度の秋葉会長富田幹事、今年度もよろしくお願い致します。今年度の地区では、奉仕プログラム委員会では、石川IPAGと黒岩さん、米山では岡田さん、RLIでは辻さんにとてもお世話になっております。

秋葉良子会長　会長職をお預かりして、早、一ヶ月経ちました。あたふたした一ヶ月でしたが今後ともよろしくお願い致します。

富田洋平幹事　お暑つうございます。本日は山王RC細田会長、石森幹事ようこそおいで下さいました。

石井本子会員　暑い日が続いております。水を補って暑さを乗り切りましょう。

かづきれいこ会員　夏も本番、暑さがきつい!です。今日はゲストに川路裕美さんを迎えます。まだ学生さんなので宜しくお願いします。

黒岩友美会員　本日友人がゲストで例会に参加します。嬉しいのでニコニコします。

辻きよこ会員　愛の反対は(無関心)。マザーテレサの言葉です。

丸山冨美江会員　NHKの(東京裁判)を見て当時帝国ホテルが各国の話し合いの場所になっていて、旧帝国ホテルの建物が出ました。伝統ある帝国ホテルにニコニコします。

にこにこ合計 27,000 円／今期累計 141,000 円

カラオケ同好会からのご連絡（石井本子会員）

8月30日（水）第10回カラオケ同好会開催のご連絡。いつも3人くらいしか参加して頂いていないですが、歌わない方にとってもとても楽しい会です。なお次回から小沼百合子会員にバトンタッチしますのでよろしくお願いします。

8月のハッピーバースデイ

並木咲樹会員（4日生れ）、井出和世会員（5日生れ）、吉田しおり会員（12日生れ）、前川恵会員（16日生れ）、落合守征会員（26日生れ）、大和田義子会員（30日生れ）

卓話

なぜ今、フィンテックか
～変わる未来のマネースタイル～

日経BP 日経FinTech 編集長　原　隆 様

インターネットが普及し始めた1990年代以降、世の中はさま変わりしました。例えば、EC（電子商取引）の世界では、注文から早ければ1時間以内で届くサービスが提供されています。映画や音楽も同様です。昔はレンタルショップで借りて楽しんでいた映画や音楽は、もはや家から一歩も出ずに楽しめる時代です。

こうした中で、置き去りにされていたのが金融サービスでした。フィンテックは金融（ファイナンス）と技術（テクノロジー）をかけ合わせた造語ですが、技術の進展によって金融サービスの利便性を高めようという潮流を意味しています。

日本では1円、5円、10円、50円、100円、500円の硬貨と1000円、2000円、5000円、1万円の紙幣があります。コロンビア大学教授の伊藤隆敏氏は2016年の講演で「1円や5円といった少額コインを廃止すべき」と主張していました。米ノースウェスタン大学ケロッグ経営大学院SCジョンソン特別教授のフィリップ・コトラー氏は昨年のインタビューで「高額紙幣こそ廃止すべき」と主張しました。

このようにお金そのものに対する議論は今もなお、活発に行われています。そもそもお金には「価値尺度」「交換手段」「価値貯蔵」の3大機能があります。もともとはスムーズな経済活動を実現するために存在していたお金ですが、フィンテックの動きによってさらなる「データ化」が進められようとしています。現金はもっとも匿名性が高いものですが、データ化されれば、そのお金のコンテキスト（文脈）が分かるようになります。後ほどキャッシュレス化について触れますが、国が積極的にキャッシュレス化を進めようとしている背景には経済活動をスムーズにするとともに、こうした流れを把握できるようになるという目的も含まれていそうです。

現在のフィンテックの潮流をひも解くと、2008年に発生した「リーマン・ショック」に行き当たると言われています。この際、公的資金による救済を受けた金融機関に対する不信感が大きく高まりました。さらに、信用度の低い企業や個人に対する融資を控える動きが広がりました。

ここに台頭してきたのがIT企業です。IT企業はデータを基に、個別の融資枠を自動的に設定し、金融機関がリスクを取れない個人や企業に対して融資を始めました。決算書や書類の提出を求められ、融資実行までに1カ月以上かかるといったこともなく、IT企業は利便性の高い融資サービスを提供しています。米アマゾン・ドット・コムは「Amazonレンディング」、楽天は「楽天ビジネスローン」を提供しています。

現在、注目を集めている仮想通貨も同時期に生まれました。ビットコインは2009年1月3日から流通が始まっています。こうした動きに金融機関は危機感を抱くことになるわけです。

では、日本のフィンテックはいつ頃から注目を集め始めたのでしょうか。契機の一つとなったのは2015年9月に金融庁が発表した「平成27年事務年度金融行政方針」と言われています。重点施策の中でフィンテックについて触れられたのです。金融機関はマイナス金利による業績悪化、異業種からの銀行参入など、様々な課題を抱えていました。こうした中で、金融庁は次々と施策を打ち出していきます。その姿勢が顕著に表れているのは2年連続で改正した銀行法でしょう。

2017年6月9日には「未来投資戦略2017」が発表になりました。この中で、2027年6月までに国内のキャッシュレス決済比率を4割まで引き上げる方針が示されています。2015年時点で、日本のキャッシュレス化の比率は18%。米国の41%、韓国の54%、中国の55%と比べて、大きく出遅れています。

中国では特にAlipay（アリペイ）やWechat Payment（ウィーチャットペイメント）など、QRコードを使ったキャッシュレス決済の存在感が増しています。しかし、過去に遡れば決して中国は環境が整っていたわけではないのです。2008年時のインターネット接続率を比較すると、日本は73.6%、米国は72.5%、韓国は70.7%に対し、中国は22.6%に過ぎませんでした。たった、9年で一気にフィンテック先進国に躍り出たわけです。

こうした背景にあるのは、イノベーションを阻害する要件の一つ、レガシー資産を持っていなかったことが挙げられます。現在では、日本でもQRコードを使った決済が少しずつ広がりつつありますが、まさにゼネラル・エレクトリック社（GE）の最高経営責任者だったジェフリー・イメルト氏や米ダートマス大学教授のビジャイ・ゴビンダラジャン氏らが提唱した「リバース・イノベーション」が起こりつつあるわけです。このリバース・イノベーションとは先進国の技術や商品を新興国へ移転するという従来手法とは逆に、新興国から先進国へイノベーションが逆流する潮流を指しています。

フィンテックは、お金のデータ化を促進し、金融業界における無駄を省き、無駄なコストを無くす動きであり、これによって金融サービスへのアクセス時に立ちはだかる障壁を下げることを目指しています。金融インフラが整っている日本では不要という見方も当初はありましたが、今ではグローバルでの動きに取り残されないよう、金融機関やIT企業が手を取り合い、イノベーションの促進に邁進しています。その際に、注目すべきは先進国というよりも、むしろ新興国にこそ注目すべきではないかというのが私の持論です。　（要約文責　小磯）

例会報告　第672回　2017年8月21日(月)

出席率 65.96%（出席者28名+メーキャップ3名／正会員50名-休会3名）

入会式（吉田靖史新会員）

秋葉会長から吉田靖史新会員に会員証とバッヂが渡され、自己紹介スピーチでは「不動産開発の事業を立上げて11年目です。海外不動産やカンボジアの農業開発なども手掛けています。入会によっていろいろな分野で経験を積んだ先輩らから学びたく期待しています。どうぞよろしくお願いいたします。」などのお言葉がありました。

会長報告（秋葉良子会長）

本日はガバナー補佐様とグループ幹事様においでいただき大変感謝しております。育成園サマーキャンプには参加できませんでしたが、6名の会員参加者が大活躍して下さって子供達も「世界で一番楽しい日」と認めてくれたそうで大成功でした。来年も皆様よろしくお願いいたします。

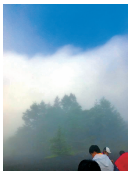
幹事報告（富田洋平幹事）

- 九州豪雨被害支援のため献金依頼が2700地区ガバナーから届いています。会場にBOXを廻しますのでよろしくお願いいたします。（例会終了時3万2000円達成）
- 育成園キャンプに参加して、福元委員長の子供達や参加者をまとめる力がすごいのを目の当たりに見ました。すごいとしか言い様がありません。私は子供達に高い高いをしてとても喜んでもらいました。来年も一人でも多く参加できるよう手配いたします。

バナー交換（The RC of Newport-Balboa）

同RCのHisayo Grace Austin女史が初メークアップしていただいたのでバナー交換をいたしました。同クラブは1939年創立の地区で最も歴史あるクラブだそうです。同クラブは70名のうち女性がある程度いますが当クラブの女性の多さにはビックリしたそうです。

育成園サマーキャンプ報告（奉仕プロジェクト委員長福元智子）



- 8月13日（日）、14日（月）生憎の小雨模様の下でキャンプを実施しました。お昼に立寄った場所では晴れ間が出たので「持ってるな」と子供達とお弁当を楽しみました。溶岩と砂礫の長い坂を走り下るイベントでは石川会員の激走を見てさすが違うなと驚きました。夜はファイヤーストーム、翌朝は沢登りに挑戦し、白水会員が「もう一回でも行ける」と体力のあるところを見せて下さいました。2日間を通して子供達が「世界で一番楽しい日だった」と言ってくれたことで疲れもぶっ飛びました。来年はもう少し多人数でやれればと思っております。

クラブ協議会報告

例会終了後小野木隆雄ガバナー補佐、古澤和一郎グループ幹事ご臨席のもと会長、幹事、各委員長から今期の方針と計画について説明と決意が述べられました。古澤グループ幹事から「女性を中心に真面目に奉仕プロジェクトにも取組み、特別例会卓話として石破茂衆議院議員をお招きするなどマンネリ化しないための企画などもあり、新進のクラブなのに素晴しい企画力だと感服しました」などと所感をいただき、散会しました。

にこにこ

永野邦夫様（東京中央RC）	久し振りのメイクアップです。今後とも宜しくご指導下さい。
秋葉良子 会長	本日はガバナー補佐とグループ幹事をお迎えして当クラブのお話等お伝えしたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。
富田洋平 幹事	先週末、東京育成園のサマーキャンプに出席して参りました。子供達の元気な姿と笑顔から私自身パワーを頂いた気がします。少し暑さも和らいできましたが、皆様お身体ご自愛下さい。
石川和子 会員	本日はガバナー補佐小野木様、グループ幹事古沢様どうぞよろしくお願いいたします。先週、育成園の子供達と富士山のふもとで楽しく遊んできました。
上野由美 会員	福元さんはじめ、キャンプに参加された皆様お疲れ様でした。楽しく元気に過ごせたようですね!ありがとうございました。
大盛敬子 会員	本日は声が出ないため司会他できなくて、申し訳ありません。又、育成園の「ふじさんぽ」では、特に福元様には大変お世話になりました。有難うございました。
小林真由美会員	吉田さんご入会おめでとうございます。
曽根章乃 会員	きのうまで連続20日間雨もよう。今日も予報では夕方に雷とのこと。みな様体調に気をつけましょう。

にこにこ合計 19,000 円／今期累計 160,000 円

卓話　教育と投資

ガバナー補佐　小野木　隆雄 様

- 多人数の前でお話するのはイニシエーションスピーチ以来のことで困りましたが、一応テーマを「教育と投資」としてお話しいたします。
- まず私の略歴ですが、深川の木場で材木屋を長くやっていましたので、江東区地盤のベイRCが最寄りクラブでしたが、深川は街が狭く、警察の会、消防署の会などでも皆メンバーが同じなのでRC位は違うメンバーでと思い、隣の人形町ベースのシティ日本橋RCに入会させていただきました。平成7年7月7日が入会日です。
- ロータリアンとしては親睦中心で旅行、ゴルフ、クルージングなどに参加し、のんべんだらりと十数年過しました。ところが、2011年に当クラブの創立20周年記念パーティの準備をしている最中の3月11日に東北大震災が発生し、準備した大宴会は中止となりました。このとき大宴会を実施すべきか中止してその資金を復興に寄付すべきかでクラブ内で大議論があり、私も「奉仕の精神」を意識するようになり、翌年11月に会長エレクト、2014年から会長に就任しました。
- そのころ当クラブではタイから青少年交換留学生のリューちゃんを引受けることになりました。高校生のリューちゃんは最初はもたもたして、富士登山に行っても途中ですぐ帰ってきてしまうような子でしたが、日本で学び生活するうちにぐんぐん成長していくのが分かりました。最後は「将来日本とタイの掛け橋になりたい」と言ってくれ、子供を成長させる青少年交換留学生は素晴しい事業だなと思うようになりました。
- そのころ、新聞に野村証券の偉い人が「教育と投資」と題して、日本人は投資が分ってないから欧米のように子供のころから「投資」について教えるべきだと主張されていましたが、私は先の経験から教育は未来に対して子供達を成長させるために費用を掛けるべきだという意味で「教育と投資」をとらえるべきだと思っています。
- 青少年交換留学生の規模や歴史をロータリー日本事務局で調べましたがなかなか分かりませんでした。2750地区では今年も9人、10人と留学生がやってきますが、2750地区の約4,500人の会員数は日本のロータリアン8万人から9万人の約5%にあたるので、全国では当地区の20倍の少なくとも180人から150人の留学生が来ていると思われます。留学生1人当りのロータリーの負担は一人100万円程度なので日本から出す留学生の分も含めて年間5億円程度の費用をかけています。すでに20年以上の歴史があるので総額100億円は下らない「投資」といえます。
- ロータリーの奨学生は、緒方貞子さんや宇宙飛行士山崎直子さんが出て有名になりましたが、大学院生で年3万$を投資しています。研究テーマは「平和、病気、経済発展」で、当地区では30人応募の中から7、8人を選抜しています。
- 昨年秋、石川和子ガバナー補佐（当時）と時枝紀子グループ幹事（当時）と共に緒方貞子さんの講演会へ行きましたが、急に来られなくなって同じ国連高等弁務官出身の中満泉女史が代理講演されましたが素晴しい話をしていただきました。
  同女史は2017年5月国連事務次長兼軍縮担当上級代表に就任していますが、ロータリーの留学生としてキャリアを始め難民の世話をしたりした後に国連に入ったそうです。
  このように1人3万$の投資で2750地区で3000万円か2900万円を投資する位で世界で大活躍してくれる人が育つというリターンが得られるのは素晴しいことだと思います。
- 米山奨学会は日本に来る海外の留学生を支援する仕組みですが、当初東京RCで各会員がタバコ一箱分を寄付することでアジアの留学生を支援することから始ったそうです。1953年ペルーの留学生を支援したのを皮切りに60年後の現在720名の大世帯となっています。60年間で2万人、1人月12万円を支援しているので約280億円が累積投資された大規模な教育投資となっています。中国、韓国に偏りすぎとか効果がはっきりしないなどの批判もありますが、中国は国の政策でロータリークラブを作らせない中ですでに米山によって5,000人から6,000人の留学生が日本で学んできています。日本で自由な経済システムと文化を学んで中国社会に還元してくれるとすれば十分役立ってくれていると考えています。
- このようにロータリーと米山の留学生支援は教育投資から見て素晴しい組織で有意義な成果をあげているのではないでしょうか。

（要約文責　宮下）

クラブ週報 編集担当　宮下文夫・小堀　彰・落合守征・左明貴子
上田美帆・吉田しおり・小磯優子・野村順子